

名古屋ビルディング桜館

名古屋市中村区名駅四丁目2-25

構造／鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造

地下1階地上12階建て

延床面積／11,315.20㎡ 竣工／2022年3月

内装木質化床面積／120㎡

木材使用量／14.703㎥（うちあいち認証材14.703㎥）

内装木質化面積／229.5㎡（うちあいち認証材229.5㎡）

施主／名古屋ビルディング株式会社

基本設計／株式会社日建設計

実施設計・施工／清水建設株式会社

受賞歴／日本空間デザイン賞入選

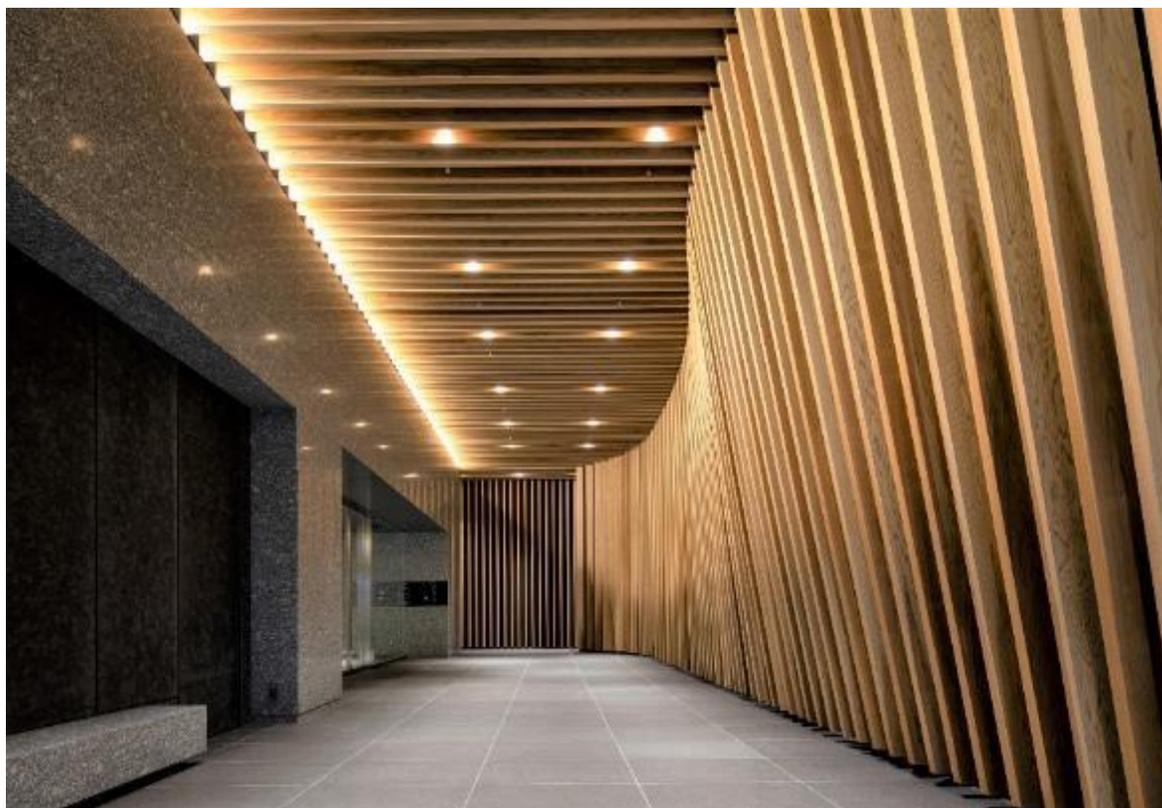
令和4年度木材利用優良施設等コンクール優秀賞

2021年度木の香る都市づくり事業活用施設

幕開けをイメージしたドレープ状のデザインが印象的なオフィスビル

縦横の木材が緩やかなカーブを描く印象的なエントランスホール。オフィス街の中に木のぬくもりを感じさせる。

名古屋駅と国際センター駅の間に立地し、人通りの多い道路からエントランスの木質化部分が見え、多くの人に木材の魅力が伝わるデザインとなっている。





木の香る都市づくり事業

スペース七番ラウンジ

名古屋市中区錦二丁目 7

構造／鉄骨鉄筋コンクリート造30階建て
 延床面積／45,000㎡うち2階ラウンジ
 竣工／2022年3月
 内装木質化面積／31.75㎡
 (うちあいち認証材31.75㎡)
 木材使用量／1.89㎡
 (うちあいち認証材 1.89㎡)

施主／錦二丁目エリアマネジメント株式会社
 設計／再生空間合同会社
 施工／材惣木材株式会社
 2021年度木の香る都市づくり事業活用施設



7番街区エリアを彩る木材製品

周辺地域で木材の利用を促進する活動実績がある都市の木質化プロジェクト（錦二丁目まちづくり協議会の一部会）の活動の一環として、既設ビル内に内装木質化を施した施設が整備された。

施設利用者、とくに子供を対象に、あいち認証材の魅力を身近に感じてもらえるよう、楽しく思わず触れたいくなるようなデザインとなっている。



カゴメビル

名古屋市中区錦3丁目14番15号

構造／鉄骨造 地上 11階・地下 1階建て
延床面積／4,427.82 m²

竣工／2022年6月 木材使用量／20.677m³

使用樹種／欧州赤松、ヒノキ、タモ等

施主／カゴメアグリス株式会社

設計・施工／株式会社竹中工務店

コンストラクションマネジメント／
日建設計コンストラクションマネジメント
株式会社

籠の目をモチーフとした印象的なデザイン

この地域のランドマークとして、地域に愛されるデザインを目指し、1階のキッチンフロアの内装や建物低層部の外観部分は、社名である「カゴメ」の由来となった「籠の目」をモチーフとしたユニークなデザインとなっている。

外観部分に使用されている木材は、木の素材感を活かすため、無塗装となっており、曲面に合わせて1本ずつ角度が調整されている。吹き抜けで2階まであがっていく様が迫力のある印象的な外観を作り出している。





中村区役所等 複合庁舎

名古屋市中村区松原町一丁目23-1

構造／鉄筋コンクリート造地下1階 地上5階建て
延床面積／17,679㎡ 竣工／2023年1月

木質化面積／934.3㎡

施主／名古屋市

設計／竹中工務店、伊藤建築設計事務所JV

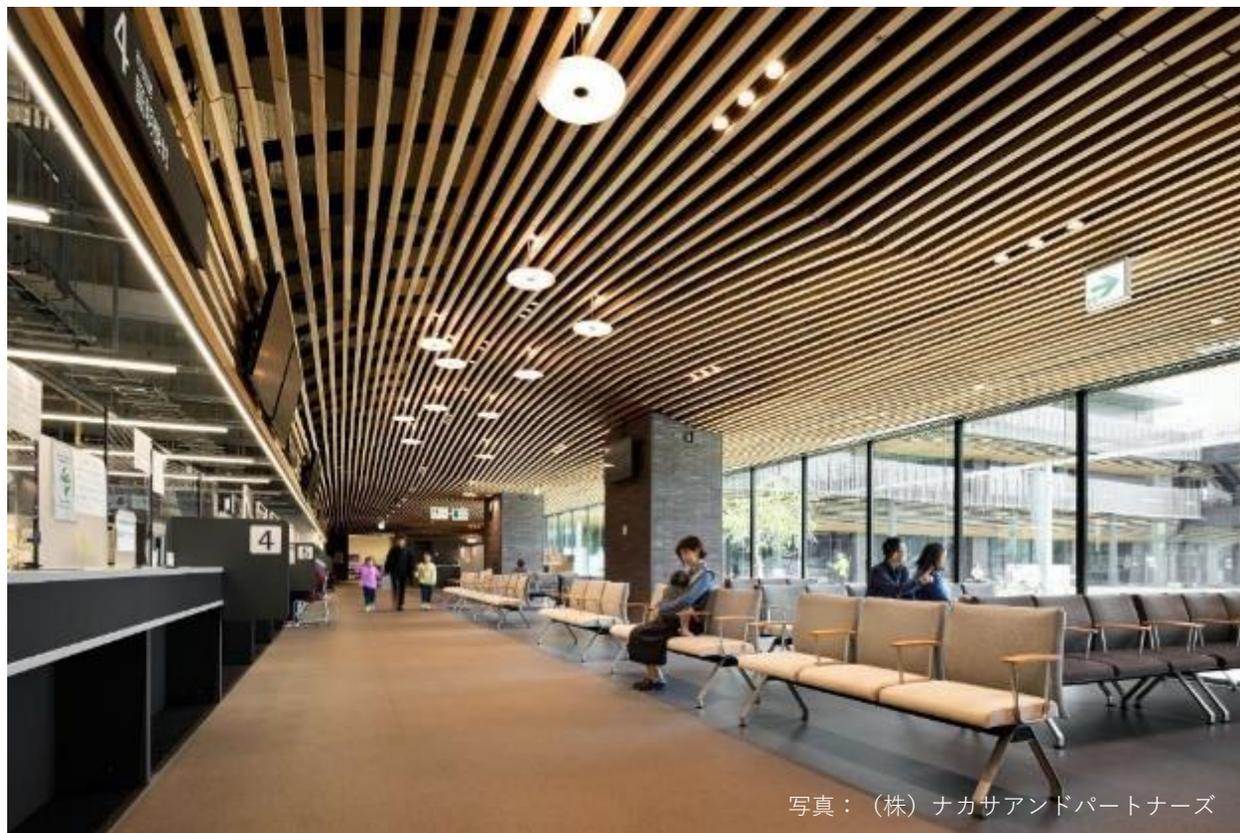
施工／竹中工務店

受賞歴／日本空間デザイン賞2023入選

波打つスギ材ルーバーが作り出す 開放的な空間

住宅街の中へ移転した中村区役所新庁舎は、保健センター、土木事務所、市税事務所を集約した複合庁舎として整備された。

吹き抜けの天井と木製ルーバーが合わさることで、圧迫感を軽減し、訪れる市民へ木の温かさと開放感を感じさせる造りとなっている。また木製ベンチなど庁舎内の随所で県産木材が利用されており、一体的な木質化空間を構成している。



写真：（株）ナカサアンドパートナーズ

木の香る都市づくり事業

しんせいひがしが

新生東志賀保育園

名古屋市北区志賀町5-2

構造／RC造2階建て

延床面積／135.07㎡ 竣工／2023年2月

内装木質化面積／158.14㎡

(うち あいち認証材158.14㎡)

木材使用量／5.58㎡ (うち あいち認証材4.18㎡)

樹種／ヒノキ、ベイマツ、シナ

施主／社会福祉法人名古屋新生福祉会

設計／吉野純子建築設計室 + clublab.

施工／ICMパートナーズ協同組合

2022年木の香る都市づくり事業活用施設



©多田ユウコ

木の温もりを五感で感じながら、 感性豊かな保育時間を過ごす

緑に囲まれた園舎は、地上園庭から屋上園庭まで立体的につながった設計となっている。

園舎内は、愛知県産のヒノキを床、壁、天井、家具に使用している。節のあるヒノキを使用することで、視覚的な変化を楽しむことができ、床は素足で過ごす園児の足の負担軽減を図り、木の温もりを直接肌で感じながら過ごすことができるデザインとなっている。



©多田ユウコ



©多田ユウコ



ステーキハウス ブロンコビリー 昭和橋店

名古屋市中川区昭和橋通6-19

構造／木造平屋建て

竣工／2023年3月

延床面積／299.6㎡

内外装木質化面積／153.73㎡

(うち あいち認証材使用量46.08㎡)

木材使用量／26.62㎡

(うち あいち認証材使用量20.85㎡)

主な使用樹種／スギ、ヒノキ

施主／株式会社ブロンコビリー

設計／株式会社永島建築事務所

施工／株式会社タカオ

国産木材、県産木材を使用した 環境配慮モデル店にフルリニューアル

1983年に開店し、世代を越えて愛されてきた昭和橋店。2022年のリニューアル当時はブロンコビリーの中で最も古い店舗だったが、今後のロールモデルとなる店舗として、食品ロス削減や脱炭素社会への実現に向けて環境配慮モデル店へと新築した。

木造建築により、建設時のCO₂排出量を削減するとともに、一部木材に国産木材や県産木材を使用することで地産地消を実現した。また、店内に使用する家具も、FSC®認証を取得した森林で育った間伐材を使用している。

※FSC®：Forest Stewardship Council®森林管理協議会による国際的な森林認証制度



金山ウッドシティビル

名古屋市熱田区金山町2-301

構造／木造3階建て 延床面積／99.96㎡

竣工／2023年4月

木材使用量／46㎡（うち CLT使用量4.3㎡）
（うち あいち認証材6.95㎡）

施主／studio KOIVU一級建築士事務所

設計／株式会社三四五建築研究所

studio KOIVU一級建築士事務所

施工／株式会社ザイソウハウス

受賞歴／令和5年度木材利用優良施設等コンクール
優秀賞

第27回木材活用コンクール

ウッド・ムーブメント賞

2022年度木の香る都市づくり事業活用施設

車窓から眺める木のある風景が日常となる

都心における中層木造建築物の普及モデルとして、住宅で用いる流通材と薄型CLT等による工場施工型の高耐力壁を使用。

外観デザインは、愛知県産スギ材のパネルユニット化した木製ルーバーによる構成とし、将来的なメンテナンスにも配慮。

内装仕上げは、様々な木材の表情を感じることが出来るよう、共有部分には愛知産のスギ材、テナント部分には愛知産のスギ材をはじめ、部屋毎に異なる樹種を木材の特性に合わせて使用している。





ツルマガーデン

名古屋市昭和区鶴舞1丁目1

構造／木造2階建て：A棟：1棟
木造平屋建て：B・C・D・トイレ
・四阿（秋の池）・四阿（熊沢山）：計6棟

竣工／2023年5月

延床面積／2,160.83㎡（3エリア合計）

木材使用量／306.50㎡（3エリア合計）

（うち あいち認証材180.6616㎡）

事業者／鶴舞公園整備運営事業共同事業体

代表企業：矢作地所株式会社

構成企業：株式会社日比谷花壇

ホームックス株式会社

ヤハギ緑化株式会社

株式会社電通名鉄コミュ

ニケーションズ

設計者／岡田建築計画事務所

施工者／タイガーハウス工業株式会社

株式会社アイチケン



名古屋市を代表する歴史ある公園が 公民連携により木造建築でリニューアル

名古屋市がPark-PFIを活用し、同市昭和区にある鶴舞公園内「正面南」「秋の池」「熊沢山」の3つのエリアの再整備を行う事業者を公募。選定された鶴舞公園整備運営事業共同事業体は「誰もがふらりと立ち寄れる引力のある公園」をコンセプトに4棟からなる飲食店や休憩所、園路や広場等の整備を提案した。

鶴舞公園固有の100年以上の歴史・文化的資産及び、緑の保全と活用をはかり、建物は「あいち認証材」のスギやヒノキを使用した木造建築とし、既存の地形や樹木を生かし、公園内のみどりの風景に溶け込むデザインとなっている。





かすみり

烏森オフィス

名古屋市中川区烏森町字四反畑 29 番 3 他

構造／木造 2 階建て

延床面積／1,915.25㎡

竣工／2023年7月

木材使用量／436.91㎡

(うち あいち認証材188.77㎡)

施主／名古屋ステーション開発株式会社

設計／有限会社マル・アーキテクチャ

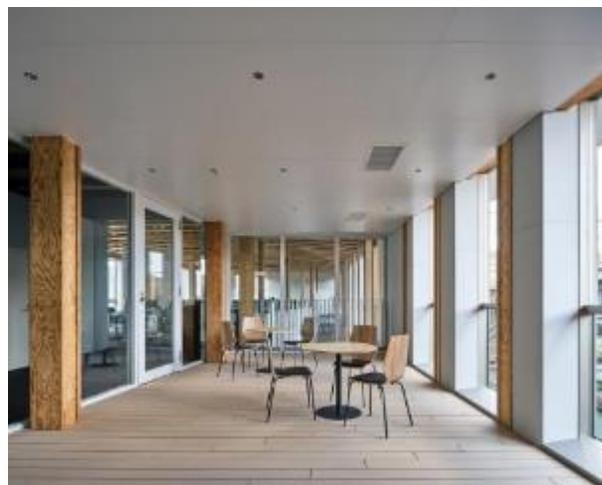
施工／株式会社前田工務店

受賞歴／ウッドデザイン賞2023

第7回あいち木づかい表彰優秀賞
2022年度木の香る都市づくり事業活用施設

木の香る都市づくり事業

あいち木づかい表彰受賞施設



高架に挟まれた敷地に建つ 東三河産木材使用のオフィス

トラス構造により、木を現しつつ、柱のない開放的な空間を創出した大型賃貸オフィス。

内部から県産木材を使った屋根大梁等を見ることができる。当該地に沿って走行するJR関西線等の車窓からは、ガラス張り外壁を透して特徴的な木構造を見られる。

写真撮影：関拓弥





木の香る都市づくり事業

エニシオ名駅

名古屋市中村区名駅四丁目8-26

構造／鉄骨造 一部 鉄筋コンクリート造

地上16階、地下2階建て

延床面積／19,932.37 m²

竣工／2023年8月

内装木質化面積／32.4m²

(うち あいち認証材使用19.4m²)

主な使用樹種／スギ

木材使用量／0.97m³

(うち あいち認証材0.77m³)

設計／大成建設株式会社中部支店一級建築士事務所

施工／大成建設株式会社中部支店

2023年度木の香る都市づくり事業活用施設



エントランスホールにあいち認証材によって構成されるデザイン壁を設置

名古屋駅徒歩圏内に位置する店舗・オフィスのビルエニシオ名駅の1階北側のエントランスホールは、あいち認証材によるデザイン壁が設置されている。

このデザイン壁は、建物外壁のデザインと呼应させることで、建物全体のコンセプトを強化し、印象に残るデザインとなっている。

また、「雇い実接ぎ（やといぎねはぎ）」と呼ばれる日本の伝統的な木組の建築工法を採用することで、木の美しい意匠を末永く保つ工夫をしている。



▲ビル外観



▲壁面（接写）

ツインアーチ 138 展望階

一宮市光明寺字浦崎21-3

構造／鉄骨造

延床面積／1385.41㎡

(うち、改修対象の展望階床面積389.56㎡)

竣工／2021年3月

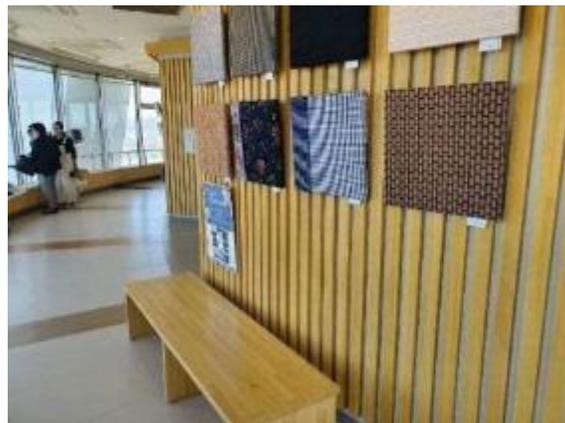
内装木質化面積／壁面木製リブ造作 73㎡

フローリング貼 88.2㎡

木材使用量／3.46 m³ 施主／一宮市

設計／一宮市まちづくり部公共建築課

施工／有限会社全日工務店



木のぬくもりを感じる展望ルーム

開館後20年以上経過し、施設リフレッシュのため展望階内装を木質化改修。

展望室は壁面に木製リブ造作を取付、展望窓下のカウンターを鋼製から木製に改修。また、ビュッフェコーナーの床をビニル床タイルからフローリングに改修し、家具も木製に更新。

来館者の視覚に入りやすい部分を集中的に改修することでコストを抑えながら、木のぬくもりや温かみを感じてもらえる施設へ改修した。





つなぐの森ハリプー

一宮市九品町4丁目22econos内

構造／躯体:鉄骨造 内部:木造

延床面積／73.47㎡

竣工／2022年8月

木材使用量／10.24㎡

施主／株式会社エコ建築考房

設計／やまのおうち

施工／株式会社エコ建築考房

木からはじまるつながりの場

岐阜県東白川村産のヒノキ・スギを主に使用している。子どもたちが直接木に触れる造りとしており、木の触り心地やにおいをおとして、木に親しみをもってもらえる遊び場となっている。また、遊び場中央の「モリハリプー」にはFSC認証材を使用している。

瀬戸市立 にじの丘学園

瀬戸市中山町1番地の57

構造／鉄筋コンクリート造地下1階地上2階建て
延床面積／15,701㎡ 竣工／2020年2月
内装木質化面積／10,572㎡
(床：9,003㎡、腰壁：1,569㎡)

木材使用量／212㎡ (うち あいち認証材171㎡)

施主／瀬戸市

設計／株式会社久米設計名古屋支社

施工／株式会社鴻池組名古屋支店

受賞歴／第5回あいち木づかい表彰優秀賞
第54回中部建築賞

2019年度次世代林業基盤づくり事業活用施設

あいち木づかい表彰受賞施設

次世代林業基盤づくり事業



県産木材をふんだんに使用した 温もりのある空間

児童生徒の減少が著しい瀬戸市中心市街地の5小学校2中学校を統合した小中一貫校。

太陽光発電や太陽熱温水利用など、自然エネルギーを利用し敷地周辺の自然環境に調和した環境に優しい施設。教室や廊下、階段などの床に「ヒノキ」、壁に「スギ」を使用するなど、県産木材をふんだんに活用し、癒しや温もりの感じられる空間とすることにより、子どもたちの教育環境の向上に活かしている。



名古屋

尾張

海部

知多

西三河

豊田加茂

新城設楽

東三河



プロリサーチ センター

春日井市鳥居松町2-294

構造／木造、鉄筋コンクリート造

延床面積／626.5㎡

竣工／2010年6月

施主／株式会社ジーシーデンタルプロダクツ

設計／隈研吾建築都市設計事務所

施工／松井建設株式会社

安らぎと新しいエネルギーを創出 する空間

春日井市におけるジーシーデンタルプロダクツの歯科材料製造活動が50周年を迎えたことを記念して竣工された建物。木製立体格子につつまれた開放感ある建物は、使用者だけでなく地域コミュニティの場として開かれた研究施設となっている。





グリーンパレス 春日井

春日井市東野町字落合池1-2

構造／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造7階建て
延床面積／7744.679㎡
竣工／2022年1月
木材使用量／32.156㎡
(うち あいち認証材 5.548㎡)

施主／春日井市
設計／株式会社黒川建築事務所
施工／高柳・服部特定建設工事共同企業体

生まれ変わった多世代交流の場

市民交流の場の提供と事業活動を支援するための施設として、より快適で利用しやすい施設に整備するとともに、研修棟2階に子ども屋内遊び場を設けている。

随所に木材を使い、木のあたたかさを感じられるつくりとなっている。



あいち木づかい表彰受賞施設

株式会社アーティストリー 応接室

春日井市西本町三丁目260

構造／鉄骨造2階建て 竣工／2022年10月
内装木質化面積／13.18㎡

木材使用量／0.05㎡（すべてあいち認証材）
施主・設計・施工／株式会社アーティストリー
受賞歴／第6回あいち木づかい表彰特別賞



3D木工による木に包まれた空間

まるで木に侵食されているような複雑な造形だが、本棚や飾り棚としての機能を持たせることにより、部屋として使いやすいようにデザインされている。

木目方向は流れに沿うように配慮され、デザインに一体感を持たせている。

非常に複雑な造形だが、3DCADを駆使したデザインと部材管理、5軸CNCによる高精度の加工、高い技術力を有した職人による施工によって実現している。



名古屋
尾張
海部
知多
西三河
豊田加茂
新城設楽
東三河

木の香る都市づくり事業

民間学童保育

グット・ビレッジあのね

春日井市南下原町5丁目17-12



木の香り・風の流れ・自然の温もりを感じる民間学童保育

田んぼに囲まれた自然豊かな環境の、開放感いっぱいの土地で子どもたちに自然の安らぎを感じ、たくさんふれてもらえるよう、園庭には四季折々の木を植樹し、室内には山の木の形そのままの変木、ロープなどを張ったアスレチックもある。

2階建てでほぼすべてに、あいち認証材を使用した板倉工法での建物。外壁、室内の壁、床、階段で杉板材を使用。特にスギ丸太柱、丸太梁の存在感は、子どもたちに木の柔らかさや温もり、豊かな自然を感じさせる空間づくりに貢献している。

構造／木造2階建て
延床面積／477.46㎡ 竣工／2023年5月
木材使用量／170.65㎡

(うち あいち認証材163.40m³)

施主／株式会社こどもみらい創造研究所
施工／株式会社安井工務店

2022年度木の香る都市づくり事業活用施設





▲ 西棟内観

桑原木材株式会社 新倉庫(西棟・東棟)

犬山市大字羽黒新田字中屋敷49番2

構造／木造平屋建て
 延床面積／西棟:278.24㎡・東棟:289.84㎡
 竣工／2023年8月
 木材使用量／西棟・東棟あわせて100.4㎡
 (うち、あいち認証材39.6㎡)
 施主・設計／桑原木材株式会社



▲ 建設中の西棟内観

国産ヒノキの無垢材を使用し大空間を実現 ハイブリッドトラス構法の木造倉庫

自社で加工する国産ヒノキの無垢材を活用することにこだわった木造倉庫。西棟は150角、東棟は120角の柱を基本とし、最大で150×240の平角を使用。すべてヒノキ材の無垢とした。

大スパンを実現するために、木材と鋼材を組み合わせたハイブリッドトラス構法を採用した。西棟は切妻屋根でトラス梁のスパンは14.56m。片流れ屋根の東棟は9.1m。また、木造にすることで、S造よりも大幅なコストダウンを実現した。



▲ 西棟外観



▲ 東棟内観

はくほう学童保育クラブ

尾張旭市桜ヶ丘町二丁目212-1他

構造／木造 2階建て地下RC 延床面積／171.45㎡

竣工／2022年3月

内装木質化面積／108.97㎡

(うちあいち認証材108.97㎡)

木材使用量／68.31m³

(うちあいち認証材66.04m³)

施主／一般社団法人Life in the Woods

設計／東海林建築設計事務所

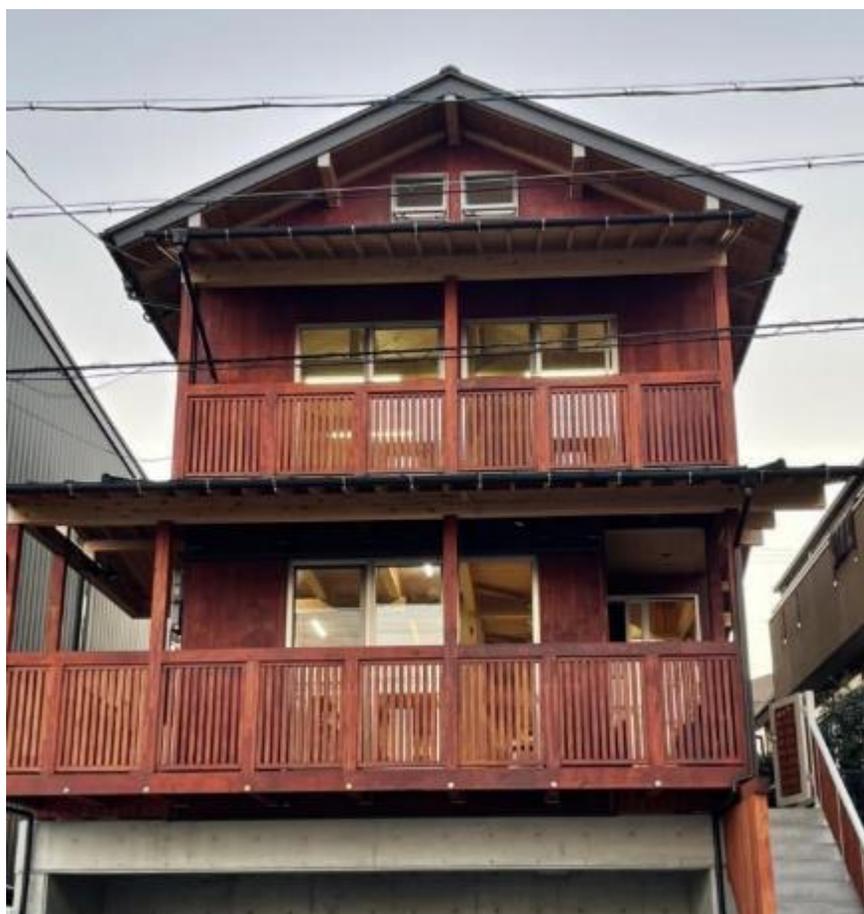
施工／株式会社安井工務店

2021年度木の香る都市づくり事業活用施設

板倉構法を採用した放課後児童健全育成施設

板倉構法は、柱等の軸組に溝を掘り、厚さ30mmの杉板を落とし込むことで壁を施工するもので、一般の木造建物に比べ、2～3倍の木材量を必要とする。

あいち認証材を地元の建物に多く使用することにより、地元への経済効果を生む取り組みでもある。



特別養護老人ホーム かもだの里

北名古屋市九之坪笹塚109

構造／鉄筋コンクリート造3階建て
 延床面積／6,119.78㎡ 竣工／2022年3月
 内装木質化面積／2,027.16㎡
 (うち あいち認証材2,027.16㎡)
 木材使用量／28.19㎡
 (うち あいち認証材28.19㎡)

施主／社会福祉法人西春日井福祉会

設計／株式会社伯楽舎伯楽工房

施工／TSUCHIYA株式会社

受賞歴／第6回あいち木づかい表彰優秀賞
 2021年度木の香る都市づくり事業活用施設

室内に広がりを与えるデザイン

ふれあい広場や喫茶コーナー、各階廊下など多くの人が集まる場所にあいち認証材を使用し、内装木質化を図っている。

特徴的な構造として、ふれあい広場の天井にあいち認証材を使った斜めルーバーを取り入れており、室内に広がりを与え、おしゃれな雰囲気演出している。

木の香る都市づくり事業

あいち木づかい表彰受賞施設





上郷複合施設 東棟

(上郷児童館・こどもの発達相談室・児童発達支援センター)

長久手市前熊前山173-3

構造／木造2階建て
 延床面積／1,596㎡
 竣工／2021年3月
 木材使用量／214.45 m³
 (うち あいち認証材 138.07m³)

施主／長久手市
 設計／樽建築設計室有限会社
 施工／株式会社前田工務店

木と触れ合う木造2階建ての複合施設

柱及び梁の一部に県産材を使用。柱・梁を見せる特徴的な意匠となっている。廊下まわりの腰壁や靴箱、ロッカー等、子ども達の手の触れる場所には、極力木を採用し、木材を身近に感じることができる。

1階は子どもの発達に関する相談を行う「こどもの発達相談室」と障がいのある児童等が身近な地域で安心して療育を受けることができる「児童発達支援センター」。2階は児童館で児童クラブも運営している。



あいち木づかい表彰受賞施設

リニモテラス公益施設

長久手市勝入塚121番地

構造／木造平屋建て 延床面積／383.30㎡
竣工／2021年3月
木材使用量／90㎡（うちスギ27㎡、ヒノキ63㎡）
施主／長久手市
設計／株式会社東畑建築事務所名古屋事務所
竣工／株式会社服部工務店
受賞歴／第5回あいち木づかい表彰特別賞
令和3年度木材利用優良施設コンクール優秀賞
ウッドデザイン賞2021
2022年度グッドデザイン賞



木造平屋 1階建ての交流拠点施設

“新たなつながりをデザインする場”
長久手古戦場駅前に位置する、木造平屋
1階建ての交流拠点施設。世代間を超えた
新たなつながりを生み出す場。

施設内の内観は、印象的なラティス構造を
採用して木のぬくもりとデザイン性の高い
構造となっている。



名
古
屋

尾
張

海
部

知
多

西
三
河

豊
田
加
茂

新
城
設
楽

東
三
河



あいち木づかい表彰受賞施設

東海木材相互市場 本社棟・問屋棟

丹羽郡大口町河北2-2

構造／木造2階建て2棟（本社棟・問屋棟）
延床面積／1,657.92㎡ 竣工／2019年6月
木材使用量／約400 m³

（うちあいち認証材67m³）

（JAS構造材製材144m³ CLT71m³）

施主／株式会社東海木材相互市場

設計／株式会社加藤設計

施工／株式会社アイチケン、
株式会社東海プレカット

受賞歴／第3回あいち木づかい表彰優秀賞
ウッドデザイン賞2019

新しい工法と、最高級木材と丁寧な 大工仕事が見ごたえの 東海最大級木材市場の本社

市場取扱商品の無垢材をふんだんに使い、東海プレカットの多様な加工技術を利用した木造建築をPRする。

柱・梁・桁の構造部分にボルトと樹脂により木材を堅固に接合する拡張樹脂アンカー工法とシンプルな継手で木材同士を縫い付ける接合技術であるウッドファスナー工法を採用。柱・梁共に国産無垢材の使用にこだわり、集成材を一切使用することなく、大きな無柱空間を実現。土台・柱・桁は機械等級JAS材、2階床及び天井にはAパネル（36mm CLT・スギ）を現しで、梁にはトラスと丸太を使用。外壁には焼杉、内装材にはクス・ナラ・サクラ・ケヤキなどの広葉樹を使用。





次世代林業基盤づくり事業

大口町立西保育園

丹羽郡大口町余野5丁目196

構造／在来軸組工法 平屋建て
 (既存園舎：鉄筋コンクリート造)
 延床面積／935.67㎡
 竣工／2020年4月
 木材使用量／228.68㎡
 (うち あいち認証材183.97 ㎡)

施主／大口町
 設計／株式会社斉木建築事務所
 施工／松岡建設株式会社
 2019年度次世代林業基盤づくり事業活用施設

「協働のまちづくりの精神」を具現化した取組

大口町立北保育園（2017年竣工）に続く、木の温もりや優しさを体感できる保育園。年々ニーズが高まる多く未満児保育の待機児童をなくすため、保育室 4 室と園児の増加に伴う調理室を新設した。

町内の企業が所有する里山の立木（間伐材）の提供を受け、市場において材料を調達する「木造」ではなく、材料の調達において「協働のまちづくりの精神」を具現化した取組。

保育室や調理室だけでなく、既存施設との融合を図りながら、園庭と繋がれるように、幅3mの回廊を設けている。内装材は豊根村産スギを使用。構造部材の仕入れと加工（集成材）は片桐銘木工業株式会社が実施した。





株式会社山西 木造4階建てビル

弥富市楠1-106

構造／木造4階建て枠組壁工法（S.S.W 14）
延床面積／286.36㎡ 竣工／2018年4月
木材利用／

縦枠材：SPF(206,204)、集成材(406)

上下枠材：SPF(206,204)、ベイマツ(206)

土台：ベイマツ(406,404)

床材：SPF(210)

施主／株式会社山西

設計／株式会社山西建築士事務所

構造計算／株式会社MoNOplan

施工／株式会社豊誠建設

非住宅木造建築の需要増加を見込み、 社内のスキルアップを図った木造ビル

1階には2×6壁に24mm厚合板を面材として使用した14倍耐力壁を採用。

各階は木造中高層建物用のホールダウンシステムATS（アンカータイダウンシステム／タナカ製）で緊結することで高耐力化を図っている。

外壁は21mm厚の強化石膏ボード2枚重ね＋防火サイディングで施工し、1時間耐火仕様とした。

同ビルをショールーム的に活用し「S.S.W 14工法」をはじめ各種工法の普及、物件対応を含めて需要深耕を進めていく方針。

あいち木づかい表彰受賞施設

蟹江町 多世代交流施設 せんとう 泉人

海部郡蟹江町大字西之森字海山326-3

構造／鉄筋コンクリート造3階建て 延床面積／2,396㎡
竣工／2018年8月 木材使用量／10.67㎡
(すべてあいち認証材(設楽町産))
施主／蟹江町 設計／株式会社黒川建築事務所
施工／TSUCHIYA・朝本組特定建設工事共同企業体
受賞歴／第4回あいち木づかい表彰選考委員特別賞



水郷のまちとしての原風景を彷彿させる、佐屋川に面した開かれた施設

蟹江町と友好関係にある設楽町産あいち認証材のスギ・ヒノキを使用しており、天井にもルーバー状に木材を利用して、視覚的に木材のあたたかみが伝わるよう配慮している。
また、エントランスに面するピロティ壁面に蟹江町の特徴的な風景を、ガラスモザイクタイルを主とした壁画で表現した。



はるっこハウス

大治町花常福島5-1

構造／木造平屋建て

延床面積／173.08㎡ 竣工／2022年9月

木材使用量／58.24㎡

(うち あいち認証材14.93㎡)

施主／大治町

設計／松岡設計事務所 竣工／大村技研

2022年森林環境譲与税活用施設



子ども子育て支援拠点施設

「はるっこハウス」は、大治町内在住の就学前児童とその保護者、及び小学生が利用できる屋内施設で、「乳幼児と保護者の交流の場」「小学生の授業後の居場所」として活用されている。

構造材の一部及び玄関ホールの内装等に愛知県産木材を使用し、木のぬくもりあふれる子育て支援施設となっている。



名古屋

尾張

海部

知多

西三河

豊田加茂

新城設楽

東三河

木の香る都市づくり事業

日本福祉大学半田キャンパス コミュニティセンター棟

半田市東生見町26番地2

構造／鉄筋コンクリート造2階建て
延床面積／2,300㎡ 竣工／2020年3月
内装木質化面積／36.6㎡（ミーティングルーム）
木材使用量／1.88㎡（全てあいち認証材）
（木質内装1.71㎡、木製備品0.17㎡）
施主／日本福祉大学 施工／西垣林業株式会社
設計／日本福祉大学建築バリアフリー 専修
坂口大史＋坂口研究室
2019年度木の香る都市づくり事業活用施設

日本福祉大学半田キャンパス内にある、 学生や地域住民等の交流施設

大学キャンパス全体や他大学での普及を視野に木質化モデルを作る事を目的として、大学構内の交流施設の一部屋を実験的に木質化した。

福祉工学科の研究テーマとして、交流施設の一部木質化による心理的・身体的な効果を調査し、県民に向けて発信する。



ロクノゴジュウナナ

常滑市大野町6丁目57番地

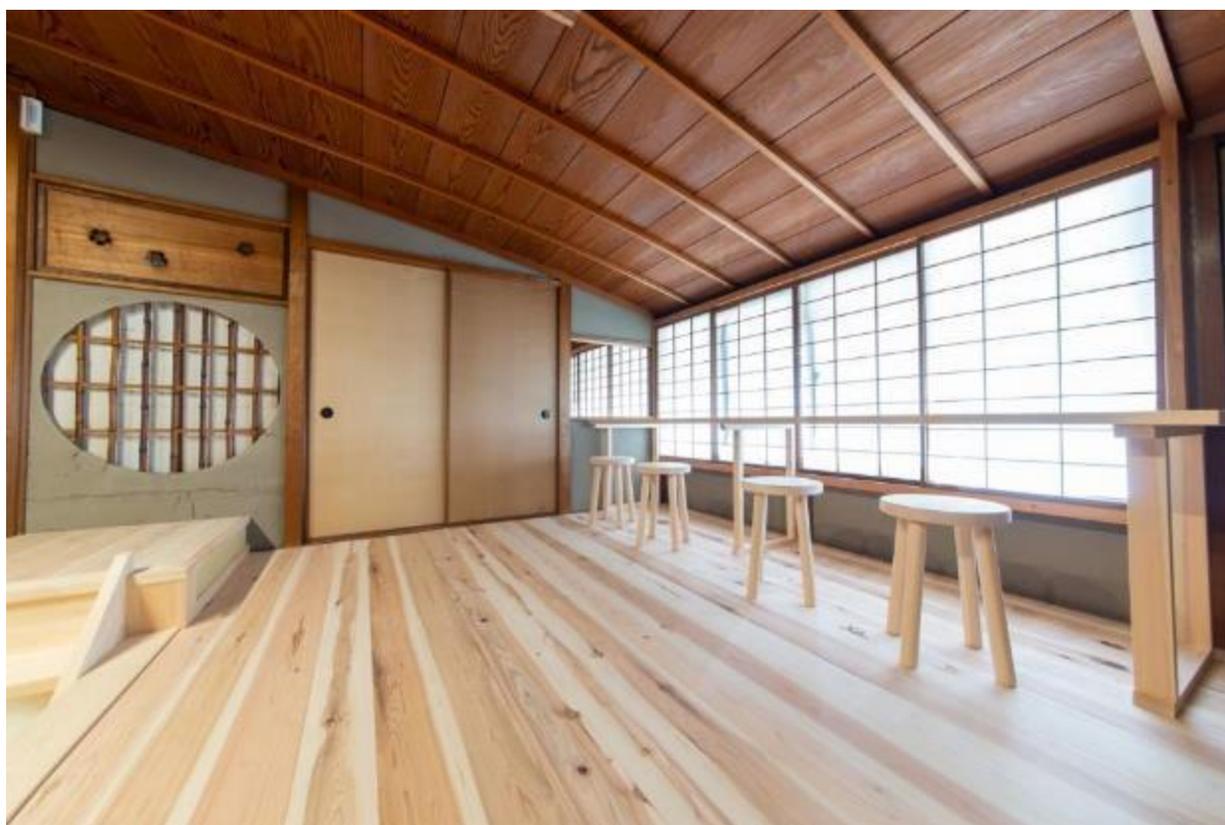
構造／木造2階建て 延床面積／163.9㎡
竣工／2021年3月
内装木質化面積／75.37㎡
木材使用量／5.8 ㎡（うちあいち認証材 5.62㎡）
樹種／スギ、ヒノキ
施主／特定非営利活動法人任
設計・施工／株式会社 戸田工務店
2020年度木の香る都市づくり事業活用施設



嘉永2年(1849年)に建築された古民家を 改修・再生したシェアリングスペース

「ひとのうごき」「ひととのかかわり」「ひとびとのおもい」を生み出すことが、ロクノゴジュウナナの運営ミッション。施設内は、柱や床板、机やイスにもあいち認証材を用い、表面の仕上げを工夫するなどして、五感で木の良さを実感できる空間にした。古民家や伝統工法、自然素材などに関心のある層への訴求を企図した。

施設では、イベントを企画し、木材そのものや、木材を活用した住宅改修、空き家などの活用、木材の産地や林業など、施設利用者が、木を起点にして関心が多面的に広がるよう運営している。



大府PA（上り）



阿久比PA（下り）



知多半島道路 大府・阿久比PA

大府市長草町石原57他、
知多郡阿久比町卯坂字上親田76他

構造／鉄骨造及び鉄筋コンクリート造
平屋建て

延床面積／大府PA 877㎡
阿久比PA 773㎡

施設オープン／2018年7月

施主／愛知県道路公社

運営／愛知県有料道路運営等事業：

愛知道路コンセッション株式会社、

大和リース株式会社、

株式会社アクアイグニス

設計・デザイン監修／隈研吾

デザインコンセプトは
「おおらかな木のひさし」

隈研吾氏が最も得意とするモダンな木材建築で、限られた敷地にありながら、開放的に感じることでできる外観をデザイン。ぬくもりを感じるやわらかな木の質感が、四季を通して来場者をあたたかく迎える。

庇部分は九州の木材を使用した不燃の構造用合板（5層）。表層、中層にはスギ、間にはマツを使用し、木の風合いを見せるつくりになっている。また、内装は宮城県石巻の災害復興品のマツ合板を使用している。